

松風台社協だより

ひだまり

第 28 号

発行日 平成27年8月1日
発行 松風台社会福祉協議会

平成27年度会長に就任して
松風台社協会長 宮本忠郎

私は平成13年に縁があつて松風台社協に足をいれて、5年間社協の活動にかかわつてきました。平成18年3月末に会長職を退任。今回、2度目の会長職に就任することになりました。思い起こせば発足当時は関係者も少なく、何とか軌道に乗せるべく苦勞したことが思い出されます。

社協活動に賛同される方々の協力で規約の制定、活動方針などを決めて推進してきました。当時、住民の方から要望があつたコミュニティのできる場がほしいとのことから「ほっとサロン」の立ち上げを関係者の尽力で実現できました。昨今の「ほっとサロン」の繁盛ぶりには驚いているところです。ボランティアの方々との協力で感謝です。

社協活動の啓蒙のため広報誌の発行は活動方針の一つでした。

創刊号は、A4サイズ一枚の「松風台社協だより」を発行しました。その後「ひだまり」への名称変更を考えデザインが決まるまで関係者で何回も話し合いをしてきました。故人になられた佐久間氏のアイデアで今の姿があります。良き助言者でした。また、彼は広報委員として尽力していただきました。私には忘れられない方です。

今日の松風台社協は、「松の実会」「ほっとサロン」「歌の街」「子

育てサロンまつぼっくり」「松風子どもクラブ」と活動範囲も広くなり存在感が増したと感じます。

各部門の活動については「ひだまり」はじめその都度回覧でお知らせしています。ぜひ皆さんが関心を持っていただき社協の活動にご参加いただきたいと思います。



松の実会に参加して挨拶をする宮本会長

2015年度松風台社会福祉協議会役員・理事

役職	氏名	備考
会長	宮本忠郎	
副会長	坂本鐵司	
会計	亀井宗士	ひだまり編集委員
役員理事	渡邊雅史	自治会副会長
役員理事	竹松和男	自治会総務書記
役員理事	中村秀子	自治会会計
理事	高橋玲子	松の実会
理事	磯野瑠美子	ほっとサロン
理事	大友元春	歌の街
理事	馬瀬功子	子育てサロンまつぼっくり
理事	塚田桂子	松風子どもクラブ
理事	伊藤和子	民生・児童委員
理事	三浦泰子	民生・児童委員
理事	鈴木義隆	ひだまり編集委員
	原喜彦	ひだまり編集委員

「松風会」は本年度より社協から独立しました。広報誌「松風会NEWS」を発行していますので活動状況・活動計画はそちらをご覧ください。

ご存知でしょうか。松の実会を

高橋 玲子

毎月第3水曜日10時から松の実会はスタートします。「今日も幸せ」の歌で始まり、「明日も幸せ」で終わります。「今日も幸せ」の歌詞は「ひだまり」編集委員亀井さんの義母様の吉川恭子さんが松の実会が発足して間もなく作詞して下さい、メンバーの佐竹洋子さんが作曲してくれました。それから20年近く毎月歌い継がれています。

松の実会は新年会、自治会主催の夏祭りでは花作りのお手伝い、会員の絵・写真等の作品展を、また、冬にはクリスマス会等のイベントを、その他外部からのボランティアさんの訪問によるハーモニカ・コーラス・ハンドベル・オカリナなどの演奏会もあります。

皆さん満足度100%のお顔をしています。他にも毎月お誕生会をやり、その月のレクリエーション係が考えたプログラムで楽しく過ごします。また、食事係が作った汁物で美味しく昼食をいただきます。

発足して20余年が過ぎた松の実会ですが、ボランティアも高齢化し、今では世話役と参加される人との線引きも難しくなり、全員が「松の実会」の会員として「出来る人が出来る事をする」をモットーに活動しています。ぜひ、一度参加して楽しさを共有していただきたいと思っています。

松の実会

毎月第3水曜日
10時～13時
自治会館集会室で活動しておりますのでお出掛けください。
連絡先：高橋
(電話番号：省略)



「ほっとサロン」で数独を楽しむ

浅枝数独の火を消さないために

岡野 正之

浅枝さんが2011年4月に解き方の説明をされたのがきっかけとなり、「ほっとサロン」での浅枝数独教室がスタートしました。昨年8月、鬼籍に入られてからは、一般数独問題を3問、浅枝さんが過去に作成された問題を1問解いています。現在のメンバーは7名です。

そこで浅枝数独教室の火を消さないために教室のメンバーを増やすこともとより、問題を作成していただける方を募っています。百聞は一見に如かず、まずは「ほっとサロン」の浅枝数独教室をのぞいてみてください。

毎月第2・第4水曜 13時～15時
自治会館集会室にて
コーヒー・紅茶：各50円
連絡先：磯野 (電話番号：省略)



教の街

「蛍の光」そして映画「哀愁」

飯島 徹也

3月の歌の街で「蛍の光」を合唱した。突然思い出が目の前を流れ、数十年前に何度も観た名画「哀愁」のシーンが甦って来た。あの夜、ロバート・テイラーとヴィヴィアン・リーは、蠟燭が静かに消えゆくクラブである曲で踊っていた。そしてこの橋の上に来ていた。彼女はそつと「貴男だけを愛しています」と一言。まもなく彼は戦場に赴いた。暫くして戦死をしたと聞き、いつしか夜の女として、この橋上に立っていたのだった。

ある夜、目の前に彼が立っているではないか。しかし結ばれはしたものの、結局彼の許から身を引き、あの橋上で車に轢かれて自殺をしてしまった。

今、彼はその二十年前の思い出を胸に橋の上に立っていた。忘れられないシーンだった。私の手には熱い涙を拭いた白いハンカチが握られていた。

開催予定：自治会館にて、10時から
(月/日) 9/13 10/17
11/8 12/13 1/10
2/20 3/19
連絡先：大友
(電話番号：省略)





7/15 松の実会 夏祭り花飾り作り



7/8 ほっとサロン
奥はスタッフの皆さん



7/21
子育てサロンまつぼっくり



7/19 歌の街

こんにちは！

「まつぼっくり」です

代表 馬瀬 切子

公園で親子や子供達が遊んでいる姿を見かけると、ほのぼのとした良い気持ちになります。

私共スタッフも月2回、ゆつくりと時間を過ごしていただきたく、遊び場所を提供させていただいております。情報交換や育児相談等、楽しく語らいながら息抜きをしてみませんか。お待ちしております。3カ月に1度はお楽しみ会を開催しています。

※お手伝いしていただけるボランティアの方を募集しております。

毎月第1・第3火曜日 10時～12時
自治会館集会室 0歳児から未就学児
参加費：1回50円（保険料を含む）
連絡先：馬瀬
（電話番号：省略）



松風子どもクラブ

代表 塚田 桂子

昨年度も沢山のボランティアの方々のご協力を得て無事に行事を行なうことができました。どうもありがとうございます。今年度も子どもたちにも楽しんでもらえるイベントを計画しております。

そして、今年は保護者の皆さんにも楽しい学びの時間を共有できたらと考えています。

「子育て」と言われる昨今、「子育て」とは、子ども自身が自らの力で成長することとあります。個性豊かな子ども達を一番身近な大人が理解し、それを表現できる自由な雰囲気の中で、大人も子どももいられたら素敵だなと思います。

子ども達の笑顔を真ん中に、年代性別を問わないコミュニケーションが広がっていくことを願って活動を行なっております。どうぞよろしくお願いいたします。

「調査を終えて」

民生・児童委員 三浦 泰子

今年5月から3年に一度行なわれている65歳以上在宅高齢者の調査がありました。松風台では、およそ七百名ぐらいの方が65歳以上となりました。お元気な方が大半ですが、一人暮らしの不安や病気をかかえた方など、手助けの必要性を感じる方も何人かいらっしゃいました。

今回は、災害時要援護者に登録を希望される方も大変増えました。今年度も登録者と支援者との交流会が開かれると思いますが、是非ご出席くださり、顔の見える関係づくりをしていただきたいと思います。

介護保険制度の改正も少しずつですが始まっています。新聞やテレビでも取り上げられていますので関心を持っていただければと思います。

民生・児童委員

山口 正美
（電話番号：省略）
伊藤 和子
（電話番号：省略）
三浦 泰子
（電話番号：省略）

私が70歳の時、「まどべ」に「五千日」というコラムを載せたことがあった。70歳の人の余命は五千日だから、余生を元気で楽しく過ごさなければならぬと書いた。私は今年、喜寿になるので、これから7年過ぎたことになる。

今年の初め、松の実会にゲストで呼ばれた時に百歳を過ぎた高橋米子さんにお会いした。私と同じ芝（今の東京都港区）の生まれであったので、意気投合したが、謡曲も歌い、絵もうまく、記憶力も判断力も健在で、ただただ、驚かされるばかりであった。

そこで百歳まで生きられる人を調べたら、百人中1.3人と出た。私の祖母も94歳、母も百歳、義父も99歳まで生きた家系だから、私もその可能性はありそうである。そうだ1%をめざそう。体力もつけないればダメだ。そう思った途端に、何か知らないが少し気力が湧いてきた。

私も年寄りだが、もっと上の年寄りに教えられることが多い。101歳の人を見習ってあまり細かいことにこだわらず、のんびりと余生を楽しみたいと思う。謡曲でも始めようかな。長生きしそうだから。



高橋 米子さん
この7月で102歳、松の実会7月例会では謡曲を良く響く声で朗々と謡われた



松風台社協会計報告

(収入)		2014年度実績	2015年度予算
費目			
松風台自治会補助金		335,000	255,000
湘北地区社協補助金		32,100	32,000
茅ヶ崎市社協補助金		70,000	70,000
前年度繰越金		8,276	12,484
雑収入		1,060	0
合計		446,436	369,484

(支出)		2014年度実績	2015年度予算
費目			
運営費	事務費	6,653	4,000
	会議費	2,916	4,000
	通信費	6,000	6,000
事業費	渉外費	0	1,000
	研修費	14,847	20,000
	広報費	25,536	24,000
	計	55,952	59,000
補助費	松の実会	94,000	94,000
	ほっとサロン	25,000	30,000
	歌の街	31,000	31,000
	子育てサロン	70,000	70,000
	松風子どもクラブ	75,000	75,000
	松風会	80,000	0
	計	375,000	300,000
	経常支出計	430,952	359,000
	予備費	3,000	10,484
	次年度繰越金	12,484	0
	合計	446,436	369,484

短 致

母の思い出

綿貫 悦子

体の弱かった私は医師から成長は無理だろうと言われていた。小学校は坂を上り下りして家から3kmくらいの小高いところにある。入学し上級生に連れられていく私は、ランドセルが歩いているようだったと母は言う。帰りは1年生だけで道草しながら、小川でメダカをすくい、野の花を折り、大人は誰一人通らない道を帰る。途中にある墓地は気味悪く、その前を通るときは、みな一斉に走る。小さい私はいちばん後ろを必死に走ったものだ。

そのうち少しずつ丈夫になり、家に籠りがちだった私は学校が楽しくてしようがなかった。

2年生の12月に太平洋戦争が始まり、その後の食糧難。結核を患ったことのある母は栄養摂取を気にし、特に虚弱だった私を気遣ってくれた。育たないと言われた私が、いま元気でいられるのは母の気概と、あの山坂を越えて小学校に通ったお陰ではないかと思っている。

おむすびはこう握ると土持ちて教えてくれし母との戦後

編集後記

今回の「ひだまり」は、編集委員を我々新メンバーが引き継いで最初の発行です。

原稿集め、紙面のレイアウト、校正から印刷まで、当事者になってみないと判らない難しさに戸惑いながらも、なんとか皆さんのお手元に配布することができました。先輩編集委員に敬意を表するばかりです。

「ひだまり」は松風台社協の広報誌として、3月と8月の年2回の発行です。よろしくお願ひします。

(鈴木)

自治会ホームページ

「松風台自治会」で検索できます。最新情報を閲覧してください。

